

校種・教科名・科目名（単位数）・実施学年				普通科・保健（1単位）・1学年
【学習到達目標】				
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。				
学	月	単	項目・単元	学習目標・学習内容
1 学 期	4 月 ～ 7 月	現 代 社 会 と 健 康	オリエンテーション ①日本における健康課題の変遷 ②健康の考え方と成り立ち ③ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ④健康に関する意思決定・行動選択 ⑤現代における感染症の問題 ⑥感染症の予防 ⑦性感染症・エイズとの予防  <b>【1学期期末考査】</b>	保健の授業のねらいや流れ、評価について周知する。 ①健康指標や疾病構造の変化から日本の健康課題を理解する。健康水準や疾病構造の変化には社会の状況が関わることを理解する。 ②健康の考え方がどのように変化してきたのか理解する。健康の成立には様々な要因が関わっていることを理解する。 ③ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。健康を保持・増進するための環境について理解する。  ④健康を保持・増進するには適切な意思決定・行動選択が重要であることを理解する。意思決定・行動選択は様々な要因により影響を受けることを理解する。 ⑤感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響する。新興感染症や再興感染症の発生や流行の現状とその理由について理解する。 ⑥感染症予防の三原則について理解する。感染症を予防するために必要な社会および個人の取り組みについて理解する。 ⑦性感染症・エイズの現状と今後の課題について理解し性感染症・エイズの予防に必要な個人及び社会の取組みについて理解する。
2 学 期	9 月 ～ 12 月	現 代 社 会 と 健 康	⑧生活習慣病の予防と回復 ⑨身体活動・運動と健康 ⑩食事と健康 ⑪休養・睡眠と健康 ⑫がんの予防と回復 ⑬喫煙と健康 ⑭飲酒と健康 ⑮薬物乱用と健康 ⑯精神疾患の特徴 ⑰精神疾患への対応  <b>【2学期期末考査】</b>	⑧生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解する。生活習慣病の予防や回復のために必要な社会の取り組みについて理解する。 ⑨身体活動・運動と健康の関係について理解し身体活動・運動の継続的な実践に必要な個人と社会の取り組みについて理解する。 ⑩食事と健康の関係について理解する。健康的な食生活の実践に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 ⑪休養・睡眠と健康の関係について理解する。適切な休養・睡眠の確保に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 ⑫がんには様々な種類があり、がんの発生要因について理解する。がんの予防や回復のために必要な個人および社会の取組みについて理解する。 ⑬喫煙による健康への影響について理解する。喫煙による健康被害の防止 ⑭飲酒による健康への影響について理解し飲酒による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。 ⑮薬物乱用による健康および社会への影響について理解し薬物乱用の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。 ⑯代表的な精神疾患の特徴や症状について理解し精神疾患の発症、回復のポイントを理解する。 ⑰精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応を理解し必要な個人および社会環境への対策について理解する。心の健康社会の実現を目指した取り組みの重要性について理解する。

3 学 期	1 月  3 月	安全 な 社 会 生 活	⑯事故の現状と発生要因 ⑰交通事故防止の取組み ⑲安全な社会の形成 ⑳応急手当の意義と救急医療体制 ㉑心肺蘇生法 ㉒日常的な応急手当	⑯様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解する。事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることを理解する。 ⑰交通事故防止には個人の取り組みと交通環境の整備が必要であることを理解する。交通事故には補償など法的責任が生じることを理解する。 ⑲安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解する。すべての人たちの安全を確保するために必要な環境の整備について理解する。 ⑳応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性を理解する。救急医療体制の仕組みと社会的整備の必要性、適切な利用方法について理解する。 ㉑心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解する。心肺蘇生法ができるようになる。 ㉒日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようになる。
			【3学期期末考查】	

\*評価の観点・方法

- ・日頃の授業態度（主体的に学習に取り組む態度）
- ・提出物（ノート等）（思考・判断・表現）
- ・各学期における期末考查（知識・技能）